

取組紹介シート

様式 4

【団体情報】 1959年設立。明るく豊かな社会の実現を理想とし、次代のリーダーとなる責任感をもって、お互いに切磋琢磨しようという情熱をもった20～40歳の青年有志による団体です。「奉仕・修練・友情」のもと、よりよい社会づくりをめざして、ボランティアやまちづくりから、行政改革、地方分権などの社会的課題に積極的に取り組んでいます。

2030年までに達成したいこと

明石の明るい豊かな社会を実現する。
そのために、率先してSDGsを用いた取り組みを行い
様々な青年会議所活動を通して、まちにSDGsの理念を浸透させる。

目指すゴール



SDGsの取り組み紹介

2022年までの主な取り組み実績



明石の海の豊かさとその大切さを子供たちに学んでもらうため、江井島海岸で地引網を行い獲った魚介類で釜飯を作りました。余った部位はコンポストを活用し堆肥にする取り組みを紹介し、市民のみなさんにSDGsに対する啓発を行いました。



熱海豪雨災害発生時には避難所運営を目的とした募金活動を明石市内で行いました。また、九州地方南部豪雨災害発生時にも、支援物資の収集を市民の皆様にご協力いただき、各地方の青年会議所のメンバーとともに現地へ支援に行きました。



仕事や普段の青年会議所活動と、メンバー自身の家庭の両立のために、スマート会議の取り組みや産休制度の導入、子連れ参加への理解を促進し、メンバーが所属する企業へもその理念を浸透させようと日々、取り組んでいます。